

南丹市立障害者支援施設運営  
委員会  
議 事 録

南丹市立障害者支援施設運営委員会事務局  
(南丹市福祉保健部社会福祉課)

令和5年度第1回南丹市立障害者支援施設運営委員会議事録

1. 招集年月日 令和5年5月23日（火）
2. 開催年月日 令和5年6月14日（水）午前9時30分～午前10時10分
3. 開催場所 南丹市役所2号庁舎 3階 301会議室
4. 委員の総数及び出席者数並びにその氏名
  - (1) 委員の総数 15名
  - (2) 出席者数 12名
  - (3) 出席した委員の氏名（敬称略）

役職	氏名	選出区分	出欠	備考
委員長	塩貝 潔子	社会福祉関係者	○	
副委員長	中川 剛	社会福祉関係者	○	
委員	平井 喜代子	障害福祉関係者	○	
委員	船越 昭	障害福祉関係者	×	
委員	塩貝 範子	障害福祉関係者	○	
委員	宅間 由美	障害福祉関係者	○	
委員	谷口 和隆	社会福祉関係者	○	
委員	湯浅 宗一	社会福祉関係者	○	
委員	奥村 史代	障害福祉関係者	○	
委員	宇野 弘一	障害福祉関係者	×	
委員	平家 佐織	事業利用者家族の会	○	
委員	湯浅 徳子	事業利用者家族の会	×	
委員	山内 正	学識経験者	○	
委員	井尻 治	学識経験者	○	
委員	山下 秋則	市議会議員	○	
合計	15名		12名	

5. 傍聴者数 0名

6. 議事の経過の要領及び議事別の議事事項

<p>司 会</p>	<p>ただ今から令和5年度第1回南丹市立障害者支援施設運営委員会を開会いたします。</p> <p>司会を務めさせて頂く南丹市社会福祉課 課長の奥村でございます。どうぞよろしくお願いいいたします。</p> <p>まず最初に本日の会場についてご報告いたします。本運営委員会の会場につきましては、八木と日吉、交互で開催させて頂いております。本来であれば本日は日吉で開催させて頂く予定でしたが、日吉支所の施設が使いにくいというご意見があったことと、日吉の生涯学習センターの会議室の空きがなかったという事で、市役所本庁舎での開催となりましたことをご報告させて頂きます。</p> <p>また新型コロナウイルスにつきまして、5月8日に第5類に移行となり、マスク着用についても個人の判断となりましたのでよろしくお願いいたします。</p> <p>本運営委員会につきましては南丹市立障害者支援施設条例に基づき設置するものでございます。</p> <p>本日は15人の委員のうち、12人に出席頂いております。南丹市立障害者支援施設条例第11条第2項に定める過半数以上の出席となっておりますので、本委員会は成立していることをご報告いたします。</p> <p>本日は、名簿4番の船越昭委員より前もって欠席の連絡を頂いておりますのでご報告いたします。</p> <p>それではまず、塩貝委員長より開会の挨拶を頂きます。よろしくお願いいいたします。</p>
<p>委員長</p>	<p>本日は南丹市障害者支援施設運営委員会にご参加頂きましてありがとうございます。どうぞございます。</p> <p>今年は梅雨入りが早く、天候不順の日が続いておりますが委員の皆様いかがお過ごしでしょうか。私は気温と天候の不調の影響を受け自分でも体調管理が出来ていないと思うくらい不安定な日々を過ごしております。今日もその影響が出てしまうかもしれませんが、何卒ご容赦頂きたいと思っております。</p> <p>まず新型コロナウイルスについて司会からもありましたが、今年の5月の連休明けから感染法上では5類・季節性インフルエンザと同等となりましたが、一気にコロナ前の生活に戻ってしまいそうで、本当にどう対応したら良いのかという思いもあります。かといってウイルスが完全に無くなったわけではないので、その辺りについてはそれぞれが気を付けなければならないなと思っております。</p>

	<p>施設運営につきましてもコロナの影響によりましてご利用者様、またご家族や職員の皆様にはご不便な事が多々あったかと思えます。徐々に施設運営もコロナ以前に戻りつつありますが十分に気を付けながら今後も運営していかなければならないと考えております。</p> <p>本日につきましては令和4年度の事業報告、令和5年度の事業計画についての説明と、小委員会においては6月の夏季ボーナスについてそれぞれ協議頂く事になっております。どうか最後までこの委員会の中で活発なご意見を頂きまして、施設運営に反映させていけたらと考えておりますのでどうぞご協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>甚だ簡単ではございますが、開会の挨拶とさせていただきます。</p>
司 会	<p>それでは早速ですが議事に入らせて頂きます。</p> <p>南丹市立障害者支援施設条例第11条第1項の規定により、塩貝委員長に議長をお世話になりますので、よろしくお願いいたします。</p>
議 長	<p>それでは議長を務めさせていただきますので、円滑な議事の進行にご協力をお願いいたします。</p> <p>次第の「3. 報告事項 施設の運営状況について」に入ります。事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>南丹市社会福祉協議会生活支援部の新井でございます。</p> <p>それでは令和4年度のあじさい園・ひより舎の事業報告について説明いたします。</p> <p>はじめにあじさい園の事業報告から説明いたします。まず、令和4年度の登録状況という事で、登録者数は合計31名。障害別内訳も並べております。男女別ではそれぞれ12名と19名となっております。登録者の平均年齢は35.8歳となっております。</p> <p>次に令和4年度の事業の成果・結果という事で報告いたします。資料にもありますようにやはり新型コロナウイルスの影響が非常に大きかった1年だったと考えております。事業所の4日間休業であったり、新型コロナウイルスの影響によって利用・出勤できない利用者や職員が多く生じたこともございました。そうした状況が稼働の低迷や十分な職員体制が整えられなかった事により現場職員の負担増加にも繋がってしまった1年だったと考えております。</p>
事務局	<p>ただそうした状況の中でも現場スタッフを中心に色々な工夫を凝らしながら利用者の意欲の向上と楽しみにつながる行事もこの中で行えたと思っております。例えば横に写真がありますが、1月には20歳のお祝いという事であじさい園で2名の新成人をお祝いすることも出来ましたし、また毎月の創作活動も感染対策を講じながら実施できました。20歳のお祝いの下の写真にもありますように音楽療法なども感染対策を講じ</p>

事務局	<p>ながら何とか実施・再開できた1年であったと思います。</p> <p>一方で令和4年度は施設・設備の老朽化も出てきておりまして、その対応にも取り組んだ1年でした。厨房の空調設備の更新であったり、補助金を活用して本棟の照明のLED化も実施できました。こうした中には京都府や南丹市の協力もあって何とか設備更新を実施できた1年でした。</p> <p>生産活動ですが、こうした難しい状況の中でも利用者の皆さんは各々の得意分野でスキルを活かしながら活躍することが出来たと考えております。こうした取組みは新たな事業の受託であったり、自主製品の売上増に繋がって、令和4年度は過去これまでに無いほどの実績を残すことが出来ました。そうしたことが利用者の工賃、月額ベースで約3,000円ほど増額することが出来たことにも表れているかと思っております。またこうした事業を通して地域との関わりも進み、利用者の社会参加にも大きな影響を与えることができたと考えております。特に八木駅の清掃業務では日頃から住民の方と関わる機会が本当に増えてまして、その中でちょっと声を掛けて頂いたりメッセージを頂いた事もありましたので、社会との繋がりもどんどん増えてきていると考えております。令和5年度ではふるさと納税の返礼品となるトイレットペーパーを新規に受託して生産活動の更なる充実を図りたいと考えております。</p> <p>課題についてですが、先ほど委員長からもありましたようにコロナが全く無くなったわけではなく、実際に今も増えてきているという報道もありますので、どういう風にコロナと向き合っていくのかという事が令和5年度も引き続き大きな課題となると思っております。そうした中で職員・スタッフも大きな重圧や疲労を抱えておりますので、運営側の働き方・労務管理も重要になってくると考えております。</p> <p>一方で生産活動につきましては、更なる充実とお客様や地域の信頼向上を目指すと共に、利用者の支援の充実や障害福祉の啓発をより進めていきたいと考えております。</p> <p>また令和5年度は健康管理の取組みも充実を図っていききたいと考えております。例えば音楽療法や身体を動かす取組みなどにも力を入れてまいりたいと思っております。またコロナ禍でこの3年間利用者の皆さんは色々な事を我慢して頂いたと思いますので、仕事を頑張るという事以外にもレクリエーションや旅行などは今まで自粛しておりましたので、そういった事の充実を図っていく1年としていききたいと思っております。</p> <p>続きまして、裏面のひより舎の報告となります。ひより舎の登録者数は25名でそれぞれ障害別内訳・男女比も掲載しております。平均年齢は</p>
-----	---

事務局	<p>51.8歳とあじさい園と比べると高くなっております。</p> <p>次に成果及び結果ですが、あじさい園と同様にコロナの影響であったり、ひより舎の土地柄もありますが大雪による臨時休業もありましたが、年間通しての利用率は74.8%と昨年度（令和3年度）と比べても大きく変わらない状態でした。ただあじさい園の時にも申しましたように、職員体制の整わない日も数多くありましたので日々の運営は非常に厳しい状況であったと思っております。</p> <p>一方、就労支援事業につきましては社会全体の情勢も改善傾向にあり、収支も良好な状態に戻りつつあると思っております。毎月定例開催のひよりカフェにつきましてはしっかりと感染対策を講じながら1年間休むことなく開催できたのは非常に大きかったと思っております。イーオンではなくテイクアウト主体の開催ではありましたが、利用者の皆さんはこういうカフェを開催できたという事でやりがいやモチベーションを維持・向上させながら取り組むことが出来たと思っております。</p> <p>数年前から始まりましたパウンドケーキを中心に製造しております焼き菓子の製造販売事業につきましては、現在のところ課題も多くありますがひより舎の定番事業として定着しつつあります。こちらも日々研究を重ねながら商品改良を進めておりますが、利用者の皆さんがやりがいを持って取り組める事業になってきたのかなと感じております。</p> <p>続いて課題になりますが、先ほど平均年齢の話をして頂きましたが、やはり平均年齢が年々上がってきていますので高齢化・重度化が進む中で生活事業の定員の拡大や新規利用の確保などの対策が急がれると思っております。一方で利用者の方が抱えるニーズも年々と複雑化している傾向にありますので、ひより舎のスタッフや職員だけに言える事ではありませんが、職員の更なる専門性の向上と、ひより舎だけで解決するのではなく色々なチーム間で連携を取って、質の高いケアの体制構築という所が求められていると思います。</p> <p>就労支援事業につきましては、事業範囲の拡大や商品の更なる品質向上に取り組んでいく必要があると感じております。併せて地域やお客様に向けての広報力・情報発信力を高めていく必要があると思っておりますが、まだまだこの辺りについては課題があると考えております。</p> <p>また利用者の工賃をしっかりと維持、あるいはもっと向上できるように努めていくと同時に、利用者の方1人ひとりがやりがいを感じながら自己実現できる環境を整備して、究極的な目標ですが一般就労に1人でも多くの方を繋いでいけるように努めていきたいと考えています。</p> <p>続いて令和5年度の事業計画について報告させていただきます。はじめにあじさい園から報告させていただきます。</p>
-----	---

まず就労支援 B 型事業につきましては令和 4 年度の形を継承しつつ、更にブラッシュアップさせていく事を考えております。働く環境での基本的な事柄を身に付けていけるようしっかりと支援していく。先ほど申し上げましたように、一般就労と新規利用者の受け入れが循環的に実現できる仕組みを構築していくために、モニタリングや一般就労への意思確認をしていきながら関係機関との連携も強化していきたいと考えております。

生活介護事業につきましては 1 人ひとりのペースを大事にしながら作業や創作的活動に取り組めるような環境を構築していきたいと思っております。

両事業の共通事項としましては利用者支援の強化、関係機関との連携であったり健康維持の取組み、あるいは作業スペースの整頓やレイアウト変更、ニーズ把握や相談等の強化を上げていくことを挙げています。次に生産活動の更なる充実という事で、新規販売先の確保やふるさと納税の返礼品にトイレトペーパーの出品などの取組みも進めていきたいと思っております。

また下請けや受託事業につきましては今まで通り期日を守り、品質の維持向上をしながら取り組んでいこうと思っております。リサイクル事業なども定期的な回収と分別作業を実施して地域の美化と衛生を保ち、資源の有効的な活動につなげていきたいと考えております。

やはり工賃の単価引き上げをしっかりと検討して、利用者の皆さんに少しでもやりがいや実感して頂けるような工賃に繋げていければと考えております。一方で事業運営の安定であったりコロナ対策やあじさい園の活動を通して社会に貢献して、障害の理解と啓発に努め、地域に必要な事業所づくりを目指していきたいと考えています。

最後に人材育成という形で、専門性を高めていくことが非常に大事になってきていますので、研修への派遣や内部会議の充実も図っていくことで専門性の向上にも取り組んでいきたいと思っております。

続きましてひより舎ですが、昨年度を踏襲しながら就労支援 B 型事業では商品の質の向上と新規販売先の確保に取組み、しっかりと就労支援での増収を目指していきたいと思っております。また、利用者がやりがいや自信や誇りを感じながら取り組める環境や仕事を用意して、個々のスキルの更なる成長に繋げていけるよう支援内容の充実も図ってまいります。

生活介護ですが、こちらは利用者の日常生活が豊かになるように支援の幅を広げていったり、モニタリングや相談確認も強化していきたいと思っております。

両事業共通の事項としましては事業の安定という事で、ひよりカフェをはじめ様々な事業を通じて地域との関わりを強化しようという事です。数値的な目標も掲げておりますが、一定の利用率を確保できるよう支援の内容や作業・仕事の内容も見直していくことを考えています。また利用者支援の強化については多様化するニーズに柔軟に対応できるよう、個々のレベルアップを図るのも大事ですが、課題でも申し上げましたようにチーム支援の強化という事で、色々な関係機関との連携を強化できるような仕組みを作っていくことを考えています。

人材育成では職務や研修、自主的な取組みを通じて様々な状況に対応できる人材育成という事で取り組んでまいりたいと思っています。

合わせて本日お配りさせて頂いております資料でA3の資料になりますが、こちらは令和4年度のアじさい園とひより舎の就労支援事業の収支状況をまとめたものになります。それぞれ事業名と月次ごとに収入と支出をまとめております。最終的にアじさい園の令和4年度の収支差額は31万1,131円のプラスが出ました。その差額を合わせて現在のアじさい園の就労支援の繰越金が約205万円となっております。

2枚目はひより舎のもので、収支差額は3万1,948円となっております。こちらを加えて令和4年度の就労支援の繰越金が約166万5千円となっております。

簡単ではありますが就労支援の収支状況をご報告させて頂きました。

最後に私から案内になりますが、事業報告・事業計画でもご報告させて頂きましたが、配布させて頂きましたアじさい園のトイレットペーパーの資料を確認頂ければと思います。こちらはふるさと納税の返礼品のウェブページを印刷したのですが、現在こういった形で掲載させて頂いております。2枚目にはこのトイレットペーパーのチラシを添付しております。こちらはまたどなたでもご注文頂けますので、もし良ければご協力頂ければと思います。

次にひよりカフェのチラシも入れております。こちらにつきましては日吉の運営委員には既に郵送でご確認頂いておるかと思いますが、先ほどの報告の中でご説明しましたが、ひより舎では毎月定例でこういったカフェ事業を開催させて頂いております。早速明後日の6月16日金曜日に開催させて頂きますが、6月のメニューはカツカレーや冷やしうどん、ひじきご飯などを中心に事業を開催させて頂く予定となっております。もしよろしければ裏面に注文票もありますので、気になる委員がおられましたらご協力をお願いしたいと思います。

以上、私からの報告とさせて頂きます。

委員長

ありがとうございました。



委員長	只今事務局から説明のありました令和4年度の事業報告・令和5年度の事業計画について、委員の皆様からご意見やご質問はございませんか。
A委員	あじさい園とひより舎でかなり平均年齢に違いがありますが、ひより舎に入所しにくいという事は無いと思いますが、この差が出た理由はあるのでしょうか。
事務局	ひより舎の方は歴史も長いのですが、民間の方が運営されていた頃から利用しておられるような10年以上継続利用されている方が多かったり、一旦学校を卒業されて一般就労されたけども就労が中々続きにくいという事で紹介されて施設に通所されたりと、学校を卒業されてすぐに利用されている方が過去は少なかったように思います。現在も元気に通って下さっている70代の方も数名おられます。その方が元気に利用されているという事もあって平均年齢が高くなっている部分もあります。
A委員	新しく入所される方もおられますか。
事務局	現在一番若い方で21歳になります。しかし20代の方が少なく、支援学校からも今年の高校3年生のうち、ひより舎が通所対象となる方はいないと聞いております。地域で住みながら通所するという事が他の地域と比べると交通面等で不便ですし、そういった影響もあるのかと思います。
B委員	素晴らしい成績を挙げて頂いて職員の方もコロナで大変だったかと思います。ちょっとお金の話になりますが、施設内に空気清浄機は設置されていましたか。
事務局	あじさい園では空気清浄機は設置されております。何か所かに設置・稼働しております。1台はコロナ禍の中での導入でしたので、次亜塩素酸を出せる空気清浄機になっております。あとは換気も徹底しております。
B委員	ひより舎の方でも設置されていますか。
事務局	はい。各フロアに設置させて頂いております。
B委員	それなら良かったです。皆さん気を付けながら取り組んでもらっていますからそれなら安心・安全です。不足なら更に導入頂きたいと思います。
C委員	支援事業の収支一覧を見せてもらっていて受託事業の中で市からの受託事業もあると思います。例えばあじさい園でしたら年2回の支払いを受けておられると思いますが、八木の駐輪場の管理費が不定期な支払いになっておりますし、ひより舎ですと保健センターが毎月支払いになっていると。市との取り決めもあると思いますが、支払いを受けるにあたって困った事はありますか。

事務局	<p>あじさい園では広報紙の仕分けに関しては毎月請求、毎月支払いになっております。保健センターの清掃については城山共同作業所様と月交代で実施しておりますので、これも実施した月は請求しております。駐輪場に関しては4半期に1回という話になっております。八木駅清掃に関しても年4回までというお話で、令和4年度は半年ごとだったのですが今年で3年目になり、今年は4半期に1回を予定しております。</p> <p>今のところ支払い関係で困った事はございません。</p> <p>ひより舎の方でも現在保健センターの清掃、広報紙・お知らせの仕分けをさせて頂いております。時々駅の清掃の提案を頂いたこともあるんですが従事できる利用者の対象が少ないという事もありまして施設内で議論した結果お断りさせて頂いた事もありました。また施設内で出来るお仕事等があればお声掛け頂けたらと思っております。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。他に何かご意見ご質問はございますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それではご意見は無いようですので3番の報告事項については終了といたします。続いて4番の小委員会の付託事項についてに入ります。</p> <p>今回の小委員会については八木の障害者支援施設、日吉の障害者支援施設の夏季の賞与の配布について協議頂きますのでよろしく願いいたします。</p> <p>続きまして5番その他に入ります。事務局から何かございますか。</p>
事務局	事務局からは特にありません
委員長	<p>委員の皆さまから何かありますか。</p> <p>それでは特にないので、これで議長を降壇させて頂きます。以後の進行は司会にお返ししたいと思います。よろしく願いします。</p>
司 会	<p>塩貝委員長、円滑な議事進行を頂きましてありがとうございます。</p> <p>それでは閉会にあたりまして中川副委員長よりご挨拶を頂きます。よろしく願いいたします。</p>
副委員長	<p>皆様ご苦労様でした。短時間ではありましたが事務局から非常に分かりやすい丁寧な説明も頂きましたし、日頃から私もあじさい園のお知らせを毎回読んでおりますが、あのような形で情報発信をして頂いて活動の様子も良く分かったと思います。</p> <p>説明でもありましたが、特にコロナ禍ではありましたが、例えばあじさい園では八木駅前の事業も拡大されて最高収入を上げられたり、ひより舎の方でもコロナ禍前の活動に戻りつつあってひよりカフェも継続されておられるという事で。両施設ともコロナ前の活動に戻りつつあると思えました。</p> <p>今後のことですが、もちろんコロナもまだまだ油断できませんのでコ</p>

	<p>ロナと向き合いながら、先ほども何回かありましたけども地域との関わりが大事だということで本日お越しの行政や議会、民生委員さん等地域で施設を支えていけたらと思いますのでご協力をお願いしまして、簡単ではありますが閉会の挨拶とさせていただきます。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>
司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、南丹市立障害者支援施設運営委員会を閉会させていただきます。</p>